
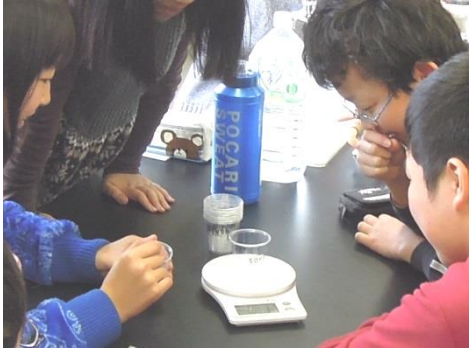


|                 |  |             |
|-----------------|--|-------------|
| 授業No.<br>14     | 授業名  | 体液のはたらきを知ろう |
| 特別講師名<br>(職名)   | 大塚製薬株式会社 仙台支店<br>コーディネーター：一般社団法人 教育総合支援機構 ゆわう  |             |
| 実施時間            | 45分  |             |
| 授業のねらい          | 実験を通してヒトの体の水分(体液)に何が含まれているのかを知り、体液の役割や働きについて学ぶ。  |             |
| 特別授業の概要         | <p>ヒトの体は6～7割が水分で構成されており、その水分を循環させることで体調を整えています。体液に近い濃度の食塩水を実際を作って口に含んで、体液の塩分を体験し、体液がどのように働いているかを考え学ぶ授業です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 講師の仕事について知る</li> <li>② ヒトの体の構成を知る <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内の6～7割が水分である</li> </ul> </li> <li>③ 体内の水分には何が含まれているのかを考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩分の濃さ(海水、体液、汗)</li> <li>・輸液(点滴)は、体液の塩分の濃さを考慮して作られている</li> </ul> </li> <li>④ 体液とその役割は何かを考える(血液、汗)</li> <li>⑤ 海水、体液、汗と同等の濃度の食塩水を作る <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に口に含み、感想を発表</li> </ul> </li> <li>⑥ ヒトの生活との関わりを考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的脱水と熱中症を防ぐために必要な水分補給のタイミング</li> </ul> </li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> |             |
| 学校にお願い<br>する準備物 | 大型テレビ(またはスクリーン・プロジェクター)、<br>電子てんびん、バケツ、指示棒など   |             |